

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 15日

和歌山県知事 岸本周平 殿

提出者

住 所 和歌山県日高郡日高川町土生1181
氏 名 南海果工株式会社

代表取締役社長 倉持昌広

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0738-22-3391

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和元年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	南海果工株式会社
事業場の所在地	和歌山県日高郡日高川町土生1181
事業の種類	10. 飲料・たばこ・飼料製造業(清涼飲料製造業)
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	1,504 t	全処理委託量	1,504 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への処理委託量	710 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	1,484 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	20 t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：動植物性残渣)

有 債 物 量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量

排 出 量

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量

自ら中間処理した後 再生利用した量

項目	実績値
----	-----

自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量
---------------	-------------------

④のうち熱回収 を行った量	自ら中間処理によ り減量した量
------------------	--------------------

⑤	⑦
---	---

⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	⑫ 1,506.91t
-----------------------	-------------

⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬ 0t
------------------------	------

⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑭ 4.16t
---	---------

⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑮ 689.36t
-----------------------------	-----------

⑪のうち再生利用 業者への処理委託量	⑯ 1,506.91t
-----------------------	-------------

⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑰ 0t
------------------------	------

⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量	⑱ 4.16t
---	---------

⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	⑲ 689.36
-----------------------------	----------

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

排出量
① 4.62t

自ら中間処理
した量
④

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目 実績値

①排出量
②+⑧自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑥自ら中間処理により減量した量
⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑩全処理委託量
⑪優良認定処理業者への処理委託量
⑫再生利用業者への処理委託量
⑬熱回収認定業者への処理委託量
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行いう業者への処理委託量

4.62t
4.62t

自ら中間処理した後
の残さ量
⑥

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑪ 4.62t

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑫ 4.62t

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬ 4.62t

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行いう業者
への処理委託量
⑭ 4.62t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑪ 4.62t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 廃油)

有償物量

不要物等発生量

自ら直接
再生利用した量
②

排出量
① 0.5t

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量
③

項目 実績値
①排出量 0.5t
②+③自ら再生利用を行った量
⑤自ら熱回収を行った量
⑦自ら中間処理により減量した量
⑨+⑩自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
⑪全処理委託量
⑫優良認定処理業者への処理委託量
⑬再生利用業者への処理委託量
⑭熱回収認定業者への処理委託量
⑮熱回収を行いう業者への処理委託量

自ら中間処理した後
再生利用した量
⑧

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した
後の残さ量
⑥

自ら中間処理によ
り減量した量
⑦

直接及び自ら
中間処理した後
の処理委託量
⑩

0.5t

⑩のうち再生利用
業者への処理委託量
⑫

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑬

⑩のうち熱回収認定
業者以外の
熱回収を行う業者
への処理委託量
⑭

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量
⑮

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 管理型混合廃棄物)

有償物量
不要物等発生量

不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量
②

自ら中間 再生利用した量
⑧

排出量
① 4.27t

自ら直接処理立 けられた量又は 海洋投入処分した量
③

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑫のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量
①排出量	4.27t	④	⑥	⑦	⑩	⑨	⑫	⑬	⑭
②+⑧自ら再生利用を行った量									
⑤自ら熱回収を行った量									
⑥自ら中間処理により減量した量									
⑦⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量									
⑩全処理委託量	4.27t								
⑪優良認定処理業者への 処理委託量	4.27t								
⑫再生利用業者への処 理委託量	4.27t								
⑬熱回収認定業者への処 理委託量									
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量									

⑩のうち再生利用 業者への処理委託量	4.27t
⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	

⑫のうち熱回収認定 業者への処理委託量	4.27t
⑬のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量	

⑭のうち熱回収認定 業者以外の業者 への処理委託量	4.27t
⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量	

(第2面)

計画の実施状況		(産業廃棄物の種類：ガラスくず等(水銀使用産業廃棄物))	
項目	実績値	項目	実績値
①排出量	0.05t	②+⑧自ら再生利用を行った量	②
③自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	④自ら中間処理した量	④
⑤自ら熱回収を行った量		⑥自ら中間処理した後の残さ量	⑥
⑦自ら中間処理により減量した量		⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑧
⑨自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	⑩のうち再生利用率への処理委託量	⑩ 0.05t
⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑪	⑪のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑫ 0.05t
⑪のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑬	⑭のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑮ 0.05t
⑮のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑯	⑯のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑰ 0.05t
⑰のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑱	⑱のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑲ 0.05t
⑲のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑳	⑳のうち熱回収認定業者への処理委託量	㉑ 0.05t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理について、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。